



# スズメバチ

年間20人前後の死者。絶対に近づかない。

**【特徴】**

スズメバチは、1回刺されただけでも急性アレルギー反応によるショック死を引き起こすことがあり、非常に危険な生き物です。

**【刺されないために】**

- 白っぽい服装で出かけ、香水やヘアスプレーなどを控える
- ハチが飛んできた場合は、騒いだり手で払ったりせず、頭を低くして離れる
- 巣を見つけたら絶対に近づかない

**【刺された際の対処】**

- すぐに毒液をしぼり出すか吸い出し、刺された部分を水で洗った後、氷などで冷やす
- 身体に異常（腫れる、じん麻疹、めまいなど）を感じた時は、医療機関を受診する
- 呼吸が苦しかったり、意識がなくなったりした時は、一刻を争うので救急車を呼ぶ

**【駆除への補助金】**

桂川町では、スズメバチの巣の駆除にかかる費用の一部を補助しています(上限1万円/1件)。

この季節、活発化  
**危険生物に注意!**

関 保険環境課 生活環境係 ☎65・1097

夏から秋にかけて、身近な危険生物たちの行動が活発化します。これらの生物は人間に害を与え、場合によっては命を落とすこともあります。その特徴と対処法を知っておきましょう。



# チャドクガ (幼虫)

触らない。刺されても搔かない。

**【特徴】**

サザンカやツバキの葉を好む黒とだいたい色の縞模様しまに全身を毛で覆われた毛虫で、6～7月、9～10月頃の年に2回発生します。毛に触れると赤く腫れ上がり、強いかゆみに襲われます。

**【刺されないために】**

- 山林はもちろん庭の樹木などにも発生
- 特に子どもが虫取りなどを行う際は注意する

**【刺された際の対処】**

- 刺された部分を搔くと毒針毛が広がるので、絶対に搔いたり擦ったりしない
- セロテープなどで毒針毛を取り除く
- 石けんをつけて勢いよく洗い流す
- 症状がひどい場合は医療機関を受診する

# セアカゴケグモ

見かけたら捕まえず、すぐに連絡を。

**【特徴】**

腹部が大きな球状で、全体が光沢のある黒色、腹部の背面に目立った赤色の縦縞たてじまがある1cmほどのクモ。地面や人工物のあらゆるくぼみや穴、すき間などに巣を作ります。

日本では6～10月に咬まれた事例が報告されており、咬まれるとかゆみや痛み、重症化すると頭痛や筋肉痛、進行性の筋肉麻痺が生じ、死に至ることも。

**【咬まれないために】**

- セアカゴケグモが生息していそうな屋外で作業をする際は、軍手など手袋を着用する
- 見つけても、素手で捕まえたり触ったりせず、保険環境課に連絡する
- 家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)を使用する、熱湯をかける、靴で踏みつぶすなどが有効

**【咬まれた際の対処】**

- 速やかに医療機関を受診する。受診の際は、クモの種類がわかるように、できれば殺したクモを持参する